

# 巡回バス利用者の ニーズの把握は

石崎 誠子議員



把握方法も含めて協議を進める  
総務部長



▲市民の声を反映し巡回バスの利便性向上を

本年7月8日、大井町幹部の方々が、地域住民1195人の署名とともに、陳情書を市長に手渡した。産業廃棄物処理業の許認可権者は愛知県知事であることも十分承知しており、同日に愛知県知事に対しても陳情書を提出している。

**問** 買い物弱者については、高齢福祉課だけでなく市の複数の課が関わる課題。関係部署が連携して横断的に取り組みを進めてもらいたい。その取り組み状況は。

**答** 全体的な移動手段として、関係部署が連携して方向性を決めていかなければならないので、方向性の決定はまだ先になる。現状では、まず見直しができる部分から改善する方向で、高齢者福祉

タクシーチケットの活用について対象者や条件も含めて検討している。

**問** 日頃、私の元にも巡回バスに関する要望が寄せられている。巡回バス運行検討委員会でこうした地域の方々の思いを、話し合うシステムがあればと思うが、巡回バス利用者などの交通弱者のニーズの把握は、どのように進めていくのか。

**答** 巡回バスの円滑な運行や利用者の利便性向上などを図るため、運行に係るニーズの把握方法も含めて協議を進めていく。

## 産業廃棄物 処理施設をめぐる 問題は

**問** 大井町に、民間事業者が、産業廃棄物の積替え保管場所を設置する計画がある。産業廃棄物処理を全面否定している訳ではないが、住民の方々は住宅地に隣接していることから、騒音・振動・粉塵・悪臭の発生を大変懸念している。

国や県よりも、地域住民に番近い市として、地域住民の切なる声・思いをどのように受け止め、対応するのか。

**答** 地域住民の思いを真摯に受け止め、愛知県海部県民事務所環境保全課に出向き、陳情書の提出があった旨を報告した。今後、事業者から「事前協議書」が提出された場合は、陳情理由に対する見解を説明会で示すよう、事業者へ伝える。